

# 経尿道的尿管結石除去術を受ける方の入院診療計画書

様

入院日： 月 日

特記事項：

尿管に結石があります。  
 病状説明：疼痛や血尿の原因になっていと考えられます。  
 治療のため上記処置を行います。（別紙承諾書も参照下さい）  
 入院期間は約4日間の予定です。

主治医： 病棟責任者：  
 担当看護師： 病棟： 棟 階

退院基準：①血尿レベル2以下である ②自己排尿ができる ③発熱（37.5℃以下）がない  
 ④麻酔の影響（頭痛・嘔気）がない ⑤退院後の生活について理解できている

	外来	入院当日（ / / ）	手術当日（術前）（ / / ）	手術当日（術後）	術後1日目（ / / ）	術後2日目（ / / ）	術後3日目（ / / ）～ 退院日
検査・治療・処置	●血液検査 ●胸部・腹部レントゲン撮影 ●心電図検査 上記の検査を行います。	□午前手術の場合 左手に点滴用の管を入れます。 ●リストバンドに名前と生年月日を記入し、取りつけます。	□午後手術の場合 10時頃、左手に点滴用の管を入れます。 ●手術着に着替えます。	●手術後は、直後・30分後・60分後と夜に体温・脈拍・血圧を測ります。 ●腰椎麻酔が醒めてきているか確認します。 ●尿の性状を確認します。	●体温・脈拍・血圧を1日3回測ります。 ●採血があります。 ●尿の性状を確認します。	●体温・脈拍・血圧を1日3回測ります。 ●血尿が薄くなれば、尿道の管を抜きます。 ●尿の性状を確認します。	●体温・脈拍・血圧を1日2回測ります。 ●尿の性状を確認します。
薬剤	●普段内服しているお薬がありましたらお知らせ下さい。 	●21時に下剤2錠をお飲み下さい。	□午前手術の場合 7時頃から点滴を始めます。 □午後手術の場合 10時頃から点滴を始めます。	●点滴を行います。 ●痛みがある時は痛み止め、熱がある時は解熱剤を使うことがあります。 ●吐き気があれば看護師にお知らせ下さい。	●点滴終了後、点滴の管を抜きます。		
安静度・リハビリテーション		●普段通りの生活ができます。	●ベッドで手術室に入室します。	●手術後から翌朝までベッド上安静です。 □食事の時は、ベッドの頭側をあげます。	●起床後より歩行の許可が出来ます。最初は看護師が付き添います。		
排泄	●制限はありません。	●制限はありません。	●朝7時に洗腸をします。 □当日朝に排便があれば洗腸はしません。	●手術後尿道に管が入っています。	●尿道に管が入っています。		
清潔	●入浴できます。	●シャワー浴が可能です。	●時計、指輪等のアクセサリー、入れ歯等ははずせるものははずしてください。 ●化粧、マニキュアはしないで下さい。		●体を拭き、パジャマに着替えます。 	●シャワー浴が可能です。	●シャワー浴が可能です。
食事・栄養管理		●食事は、夕食まで食べられます。 □午前手術の場合、0時から水分は飲まないで下さい。 ●特別な栄養管理（□有 □無）	●食事をとる事はできません。 □午後手術の場合、8時から水分をとることができません。 	●帰宅3時間後より水分及び食事をとることができます。看護師が時間をお知らせ致します。	●普通食が食べられます。制限はありません。 		
説明・指導・教育	<手術の必要物品> コップ 曲がるストロー 入れ歯入れ(必要時)	●病棟の案内をします。 ●手術前後の経過について説明します。（主治医・看護師） ●手術室看護師の訪問があります。 ●薬剤師から薬の説明があります。 	●手術着に着替える前（手術室に入室する30分前）排尿を済ませ下さい。 ※手術室に入室する時刻（ 時 分の予定） ※ご家族の方は、手術が始まりましたら、A棟5階食堂でお待ち下さい。	●尿道に管が入っていますので引っ張らないようにして下さい。 ※ご本人・家族の方へ主治医から手術結果の説明があります。看護師が案内します。 	●麻酔の影響で吐き気・頭痛が起こる事があります。安静臥床で緩和します。水分を多めにとりましょう。	（麻酔の影響で頭痛、吐き気が起こる事があります） ●尿道の抜けた後、しばらくは血尿・排尿時痛などが起こりますので、水分を十分とりましょう。	●退院療養計画書をお渡しいたします。 

上記内容について説明を受けました。お名前

(署名)